

教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

☎0124-27-7586

目次	1面	令和6年度芦別市における学校教育の重点について
	2面	令和6年度教育予算について
	3面	新生芦別中学校がスタート!・芦別高等学校修学費助成事業について
	4面	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

令和6年度芦別市における学校教育の重点について

本市では、毎年度、芦別市学校教育推進計画を策定し、この計画において4つの重点目標を掲げて、学校教育活動に取り組んでいます。

～ 学ぶ力の育成 ～

☆ **子ども一人ひとりが自ら課題を見つけ、学び、解決するために必要な「学ぶ力」の育成を図ります。**

- 小中学校で統一した学習スタイル「芦別スタンダード」の定着と子ども主体の授業の実現
- ICTを効果的に活用した個別最適な学びや協働的な学びの充実
- ナビマなどの学習支援ツールを活用し、家庭と連携した「家庭学習の習慣化」の取組強化
- 義務教育9年間の系統性を踏まえた小中一貫教育の推進
- 中学校とのつながりを大切にした小学校外国語活動の充実
- 地域の人材、自然、産業などを活用したキャリア教育の推進
- 持続可能な社会を実現するための担い手の育成を目指したSDGs・ESDの考えを取り入れた教育の推進

～ 豊かな心の育成 ～

☆ **子ども一人ひとりの人格のよきよき発達を促すため、生命を大切にする心や他を思いやる心などの豊かな心の育成を図ります。**

- いじめや不登校などの未然防止と早期発見・早期対応への取組
- 児童生徒の発達段階や特性を踏まえた、的確な児童生徒理解と教育相談の充実
- 望ましい人間関係を作り出す特別活動の充実
- よりよく生きるための道徳性を養う道徳の授業づくり
- 読書量を増やす読書活動の充実
- 「農業体験」「木育」「炭鉄港」などを取り入れたふるさと教育の推進

～ 健やかな身体の育成 ～

☆ **子ども一人ひとりが生涯を通じて運動に親しみ、積極的に心身の健康の保持増進を図る資質や能力の育成を図ります。**

- 地域と連携した部活動の充実
- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける食育の推進
- 「一校一実践」などの体力づくり・運動能力向上に関する取組の日常化
- 学校内外の安全や交通安全、災害時の安全などの「安全教育」の充実



～ 地域に開かれた信頼される学校づくりの推進 ～

☆ **学校、家庭、地域がともに連携し、より一層地域に開かれた信頼される学校づくりに努めます。**

- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用した、地域の教育力を生かした地域とともにある学校づくりの推進
- 学校だよりや教育だよりなどを通じた学校運営や教育活動に関する情報の共有
- 啓成中学校と芦別中学校の統合後の新たな芦別中学校の円滑な教育活動の推進（※3面に詳細を掲載）

令和6年度教育予算について

本市の教育予算は、学校教育や社会教育の充実を図るため、学力向上、文化・スポーツの振興など、様々な取組を行い、子どもたちがより良い教育環境の中で学校生活を送ることができるよう、事業の目的に応じて予算を決めています。

今年度実施する事業とその予算について、一部を紹介します。

【事業費】

☆小中学校エアコン整備事業（1億104万円）

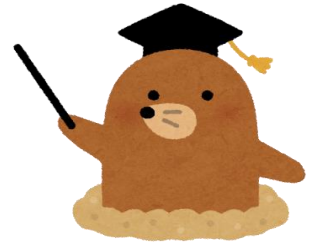
小中学校の普通教室、特別支援学級教室へのエアコン設置に係る経費

☆小中学校照明器具LED化整備事業（1億1,035万円）

小中学校校舎の照明のLED化に係る経費

☆給食配送車購入事業（1,474万円）

給食配送車1台の購入に係る経費



【経常費】

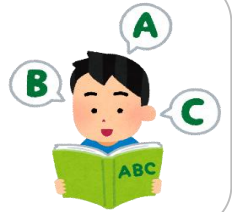
☆学力向上等事業（310万円）

英語検定などの各種検定料助成、デジタルドリル（ナビマなど）の利用に係る経費など。

【各種検定料助成について】

各種検定料の助成については、これまで小学校3年生から6年生まで及び中学生を対象としていましたが、令和6年度からは小学校1年生及び2年生も対象とし、学習意欲のさらなる向上と基礎学力の定着を図ります。

なお、詳しい申し込み方法等については、学校をとおしてお知らせいたします。



☆外国語教育推進事業（1,074万円）

小中学校に1名ずつ配置している外国語指導助手（ALT）に関わる経費など。

☆情報化教育推進事業（1,065万円）

小中学校に整備したコンピュータ機器の保守、中学校の校務用パソコンの更新など、ICTの活用支援に係る経費。

☆特別支援教育推進事業（1,822万円）

小中学校に配置している学習支援員や特別支援学級補助員に係る経費など。

☆いじめ・不登校対策事業（62万円）

スクールカウンセラーに係る経費や、適応指導教室（ステップ）に係る運営費など。

☆地域とともにある学校づくり推進事業（47万円）

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に関わる運営費など。

☆就学援助事業（437万円）

経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して支給する学用品費等の経費など。

☆通学自動車運行事業（2,570万円）

スクールバスの運行に係る経費など。（※中学校の統合により、新たに2路線を増設し、令和6年度からは6路線で運行しています。）

☆学校給食事業（6,448万円）

小中学校の給食に係る経費など。（※令和6年度から小学生と同様に、中学生の給食費を無償化）

☆高等学校教育推進事業（992万円） ※3面に詳細を掲載しています。

芦別市内に住所を有する芦別高等学校生徒の保護者に対しての助成に係る経費など。

☆芦別市地方創生塾実施事業（158万円）

芦別高校の生徒による高校生カフェや地域との交流事業等に係る経費など。

新生・芦別中学校がスタートしました！

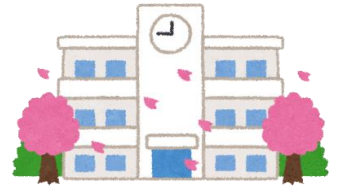
啓成中学校と芦別中学校の統合により、令和6年4月に新たな芦別中学校としてスタートしました。これからは、両中学校が培ってきた伝統や歴史、特色を融合し、新しい中学校として「星の降る里あしべつの未来を創る中学生」を育てていくこととなります。

星の降る里あしべつの未来を創る中学生として「自分の夢や目標を語れる生徒」とするため、9つのめざす生徒像を定め、新しい中学校として日々の教育活動に取り組んでいきます。

また、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）のさらなる充実を図るなど、より一層地域に開かれた学校づくりを進めていきます。

9つの目指す生徒像

- ① **明朗な挨拶**～明朗な挨拶を交わす生徒
- ② **愛と誇り**～芦別を愛し芦別に誇りをもつ生徒
- ③ **責任と自覚**～地域社会の一員であることを自覚する生徒
- ④ **自ら学ぶ**～自ら学ぶ生徒
- ⑤ **努力**～目標に向かって努力する生徒
- ⑥ **やりぬく**～ねばり強く最後までやりぬく生徒
- ⑦ **自他を尊重**～多様性・個性を尊重でき、仲間を大切にできる生徒
- ⑧ **品格**～礼儀正しく、協調性と思いやりあふれる生徒
- ⑨ **心身たくましく**～強くたくましい心と体をめざし、粘り強く取り組む生徒



※芦別中学校ホームページ

→<https://www15.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0120027>

芦別高等学校修学費助成事業等について

本市では、芦別高校に通学する生徒の保護者負担の軽減と、芦別高校への進学者を確保するため、次のとおり助成を行っています。

1. 就学奨励費助成

対象：芦別高校に入学した生徒のうち、芦別市内に住所を有している保護者
内容：「どんぐり商品券」10万円分

2. 検定試験等受検料助成

対象：芦別高校で募集又は推奨する各種資格取得試験、能力検定、模擬試験などを受験する生徒の保護者
内容：受験料の2分の1

3. 芦別高等学校学力向上等支援事業

対象：大学や専門学校への進学、就職支援のために芦別高校が取り組む事業
内容：①学習意欲の向上対策として、学習サポートツール「スタディサプリ」の導入に対する補助金の交付
②進路選択の動機付け、大学受験や就職を具体的な目標として意識するための機会づくりとする「カタリ場」の開催に対する補助金の交付



※詳細は芦別市ホームページ及び芦別高校ホームページに掲載されていますので、ご覧ください。

芦別市ホームページ→<https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/shisei/bukyoku/kyouikuinkaijimuka/gakumu/>

芦別高校ホームページ→<https://www.ashibetsu.hokkaido-c.ed.jp>

保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな施策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有するため年3回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係
【電話】0124-27-7586 【ファックス】0124-22-9696
【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp

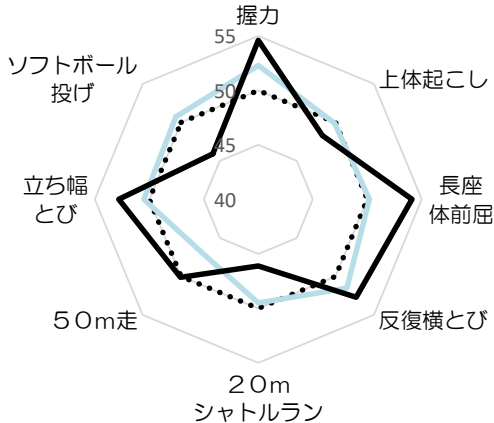
令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

この調査は、文部科学省が子どもたちの体力の状況を把握・分析することなどを目的に、全国の小学校5年生・中学校2年生を対象に、50m走などの8種目で実施しているものです。本市でも、昨年の4月から7月までにかけて実施しました。今後は分析した調査結果を基に、引き続き子どもたちの体力向上に向けた様々な取組を実施していきます。

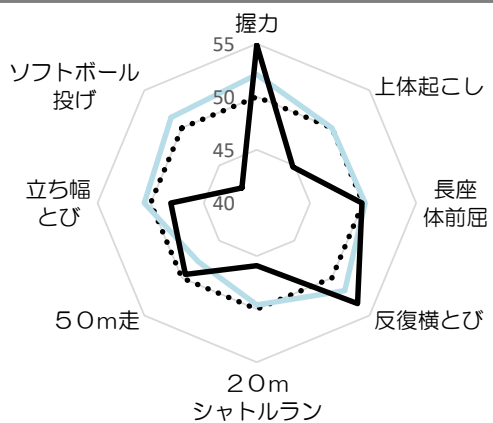
芦別市 — 北海道 — 全国 —

グラフは、全国を50とした場合の、北海道及び芦別市の数値を示したものです。

小学生男子

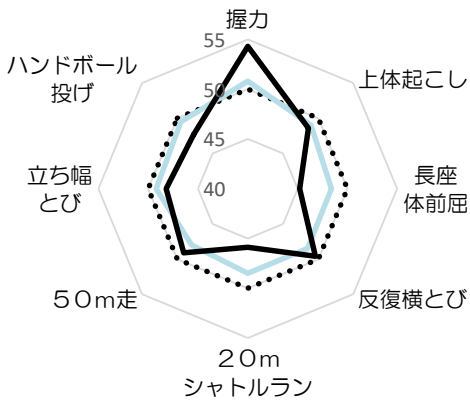


小学生女子

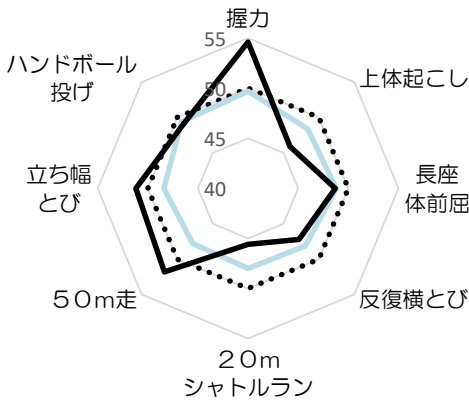


小5男子は「握力、長座体前屈、反復横とび、50m走、立ち幅とび」の5種目で、小5女子は「握力、反復横とび」の2種目で全国を上回りましたが、男女とも「上体起こし、20mシャトルラン、ソフトボール投げ」については全国を下回っています。なお、小5男子は8種目の体力合計点で全国を上回る結果となりました。

中学生男子



中学生女子



中2男子は「握力」で、中2女子は「握力、50m走、立ち幅とび」の3種目で全国を上回りましたが、男女ともに「上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、ハンドボール投げ」については全国を下回っています。このうち、「20mシャトルラン、ハンド（ソフト）ボール投げ」の2種目は小学校でも全国と比べ下回っていることから、小中学校が連携してその改善に向けた取組を行う必要があると考えます。

学校における体力向上の取組 ☆★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

小中学校では、縄跳びを活用した体力づくりなど「一校一実践」の取組による運動能力の向上を推進しているほか、「早寝・早起き・朝ごはん」運動など、家庭と連携した「望ましい生活習慣の定着」に向けた取組を進めています。

また、小学校においては、大リーグで活躍している「大谷翔平選手」から寄贈されたグローブを活用するなどして、キャッチボールを楽しみながら、体力の向上を図っています。

大谷翔平選手から寄贈されたグローブ→

